

平成28年6月放送総局長定例記者会見要旨

○リオデジャネイロオリンピックの放送計画について（木田放送総局長）

総合テレビでは、夜10時から始まる予選に続き、早朝から午前中いっぱいにかけて行われる決勝種目まで日本選手の活躍をライブで伝える。また夜間帯には、ハイライト枠を編成する。

BS1では、ほぼまる1日オリンピックを放送し、期間を通して360時間程度を予定。現地で競技の行われていない午後帯も「見逃し・録画ゾーン」として、28競技すべてを放送する予定。

ラジオ第1とFMでは、独自の実況を交えライブで伝えるとともに、最新情報や話題などもきめ細かく取り上げていく。

現地でオリンピックの開会式の放送を担当するのは、阿部渉アナウンサーと森花子アナウンサー。開会式を担当するのは、三瓶宏志アナウンサーと杉浦友紀アナウンサー。

（詳細は報道資料を参照）

○リオデジャネイロオリンピック関連番組について（木田総局長）

「NHKスペシャル」では、7月に3回シリーズで、アスリートの驚異的な肉体の秘密に迫る「ミラクルボディー～人類限界値への挑戦～」を放送。8月には、「金メダルへの道」を放送する。8月3日は、競泳の萩野公介選手と瀬戸大也選手の強さの秘密に迫り、4日は、体操男子団体の五輪直前の代表合宿に密着。また5日には、「リオデジャネイロオリンピック開幕スペシャル」を、現地からの中継を交えてお伝えする。

（詳細は報道資料を参照）

○リオデジャネイロオリンピックのネット展開について（木田総局長）

ネット独自のコンテンツとして3つのサービスを実施。“いつでも、どこでも”触れて楽しんでもいただけるサービスをロンドン大会より大幅に強化する。

このうちライブストリーミングは、現地から送られてくるライブ映像（音声は現地の会場音声のみ）を、そのままパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけ、あわせて2000時間以上の配信を予定。また、ライブストリーミング映像を生で見ることができない方のために、あとからネットでご覧いただけるサービスも実施。さらには、日本時間の深夜から午前中にかけて行われる競技をコンパクトにまとめた動画を毎日、朝と昼前の定時に配信する。

このほか、放送番組を同時にインターネットに配信する試験的提供なども予定している。

（詳細は報道資料を参照）

○夏の特集番組について（木田総局長）

総合テレビでは、7月18日の海の日に、俳優の西島秀俊さんが海の魅力と地球環境の危機をレポートする「海洋アドベンチャー タラ号の大冒険」を放送。8月25日には、目に見えないモノの仕組みや世の中のわかったようでわからないことを、擬人化して説明する実験バラエティー「林修の 見れば納得！ギジンカイメイ」を放送する。

Eテレは、「びじゅチューン！」の夏休みスペシャルを7月17日に放送。31日には、万葉集のふるさとの季節の恵みを描く「やまと尼寺 精進日記」を放送し、8月1日には、「Rの法則」と「テストの花道ニューベンゼミ」が生放送でコラボレーションする特別企画をお送りする。

BS1では7月16日に、ハバナにある公園にカメラを据え、集まってくる人たちに話を聞く

「BS1スペシャル ハバナ Wi-Fi 公園の一週間～変わるキューバ 人生模様～」を放送する。BSプレミアムでは、渥美清さんが亡くなって20年になることから、「寅さん 鉄道ふれあい旅」を8月11日に放送するほか、渥美さんの青春時代を描くドキュメンタリードラマなどを放送する。ラジオ第1では、若手落語家が3分間の落語で優勝を争う「真夏の話術」を8月10日に放送。8月16日には、震災の被災地・熊本に向けて歌やメッセージで全力でエールを送る番組を放送する。（詳細は報道資料を参照）

○戦争と平和を考える番組について（安齋副総局長）

8月6日のNHKスペシャルは「原爆投下 書き替えられた真実」。広島・長崎の原爆投下はトルーマン大統領が明確な意思のもとに決断した作戦だという定説が今、アメリカで見直されようとしている。最新の研究と元軍人の証言などから、原爆投下をめぐる意思決定がどう進められていったのか、知られざる真実に迫る。

8月15日、終戦の日のNHKスペシャルは「ふたりの贖罪（しょくざい）日本とアメリカ・憎しみを越えて」をお送りする。真珠湾攻撃の総指揮官・淵田美津雄と、元アメリカ陸軍パイロットのジェイコブ・ディシェイザー。戦後、キリスト教に回心し、淵田はアメリカ、ディシェイザーは日本に渡って伝道者となった。憎しみが渦巻く敵国に飛び込み、贖罪と自省の旅を続けた2人の宣教師の歩みをたどっていく。（詳細は報道資料を参照）

○ウィンブルドン2016について（荒木副総局長）

テニスの四大大会のひとつ、ウィンブルドン選手権が、6月27日から2週間にわたってイギリスで開かれる。大会期間中は、連日、総合テレビを中心に放送する予定で、四大大会での初優勝に大きな期待がかかる男子シングルス・錦織圭選手の試合スケジュールが決まり次第、ホームページなどでお知らせする。また、今年もテレビでは放送しない一部の試合を、インターネットを通じてリアルタイムで提供。スマートフォンなどのアプリでご覧いただける。（詳細は報道資料を参照）

○7/3<BS1>「激動の世界をゆく」～若者は政治をどう変える（仮）（荒木副総局長）

若年世代は、政治に無関心といわれ、投票率は多くの先進国で低迷している。しかし今、インターネットが身近にあり、SNSを使いこなす1980・90年代に生まれた世代を中心に、政治参加の新たなうねりが起きようとしている。アメリカでは、彼らが支持する候補者や政党が躍進して選挙に波乱を巻き起こし、スペインやスウェーデンでは、ITを活用して政治に声を直接届けるなど、民主主義のあり方を変えようとしている。大越健介キャスターが、世界の若者の政治参加の現状に迫る。（詳細は報道資料を参照）

○「追跡“出家詐欺”」問題を受けた再発防止策の実施状況について（木田総局長）

クローズアップ現代などの「追跡“出家詐欺”」問題を受けて、NHKが再発防止策を定めてから、5月末で1年が経過した。この1年間の取り組み状況についてまとめた。再発防止策の柱は、次の4つ。

▽匿名での取材・制作のチェック ▽複眼的試写によるチェック ▽取材・制作の確認シートによるチェック ▽ジャーナリストとしての再教育

再発防止のためには、この問題を風化させず、得られた教訓をしっかりと引き継いでいくことが、何よりも重要だ。「視聴者の期待に反する放送を繰り返さない」という強い決意のもと、再発防止の取り組みを、着実に継続していく。（詳細は報道資料を参照）